

町長の行政報告（抜粋）

- 県北浄化センターに留め置きされた汚泥は、5月末までに約49%が減容化され、順次、搬出されている。
- 熊本地震に伴う被災地への職員の派遣では、東日本大震災の経験を踏まえ、福島県からの要請に応じて5月30日から6月3日まで、職員1名を派遣した。
- 道の駅のソフト事業と6次化商品開発では、出荷組合員の資質と意識の向上を図るため「道の駅もてぎ」の講演会、町民を対象とした道の駅説明会を開催し、道の駅の愛称募集も行った。
- 国産産の献穀米「天のつば」100%で醸造した「あつかしさん（火入れタイプ）」が、モンドセレクション2016で金賞を受賞し、国外でも高い評価を得た。
- まちづくり事業は、9月22日の開催を決定した「義経まつり」を中心に実施を考えており、5月末には義経まつり実行委員会が組織され、具体的な検討と準備に入ったところ。
- くにみキッズフェスティバルは、子育て支援の新規事業として8月7日に観月台文化センターで開催される。創

作・体験活動を通して、親子で共通の楽しさを味わう「ふれあいの場」を設定したイベントを計画している。

● 結婚世話やき人募集については、結婚に向けてのアドバイスや出会いのきっかけを提供するなど、世話やき活動をしていただける方を募集している。

● ふるさと納税事業は、本年度よりインターネットを介しての申込み、クレジットカードによる寄付金の納入を可能とし、町の特産品の種類やお返しする割合を大きくしたことから、6月17日現在で2,572件、約2,600万円となった。

● 学校教育は、新年度はくにみ幼稚園138名、国見小学校412名、県北中学校250名でスタートした。

● 町にゆかりのある「故・石原蔵」氏が生前に収集した美術品34点がご家族から町に寄贈され、同じく寄贈を受けた県立美術館と共同で、6月11日から19日にかけて観月台文化センターで移動美術館「石原コレクション名品展」を開催した。

みなさんからの 陳情

6月定例会では陳情2件を常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳 情	提 出 者	結 果
国からの「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書の提出を求める陳情書	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志 福島県教職員組合 伊達支部 支部長 酒井 克幸	採択 (全員賛成)
地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情について	自治労国見町職員労働組合 執行委員長 中條 伸喜	採択 (全員賛成)

※議長は採決に参加しない。



委員会での陳情の採択を受け、慎重審議を行い、意見書をまとめました。議事に諮り可決されたため、意見書を提出しました。

意見書

6月定例会では意見書2件を全員賛成で可決し、国など関係機関へ送付しました。

「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書

東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学に対する支援が保障されるよう、平成29年度以降も全額国費での支援に必要な予算確保を求めるもの。

可決

地方財政の充実・強化を求める意見書

平成29年度の政府予算、地方財政の検討にあたり、歳入・歳出を的確に見積り、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立をめざすよう求めるもの。

可決

～7人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般質問

6月定例会

議員	質問事項	ページ
松浦 和子	道の駅を拠点とした町の観光構想は	8
	女性委員を増やす取り組みは	
松浦 常雄	大枝湛水防除施設のポンプの備えは十分か	9
	耕作放棄地などの雑草について所有者への指導は	
佐藤 定男	11月の町長選挙に立候補する意思是	10
村上 一	結婚世話やき人事業に期待	11
	加工施設で町の食文化の掘り起こしを	
浅野 富男	執行部と議会の信頼関係を損なうような事態は避けるべき	12
渡辺 勝弘	有害鳥獣問題解決のため協議会を設立すべきでは	13
村上 正勝	道の駅を成功させるための考えは	14

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。